

令和4年度

インターンシップ 事前準備講座

【主な対象】

学部等の正課科目として
インターンシップに参加予定の学生



科目一覧 1

科目名	学期 (ターム)	定員	主担当教員	主聴講対象学部
キャリアビジョン研修	通年	5	長橋 徹・他	全学部1年生 (開講は農学部)
1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅠ・Ⅱ	第2ターム・集中	25	高澤 陽二郎・他	全学部1・2年生(必ずⅠ・Ⅱともに受講)
コミュニティーインターンシップ実践	集中	15	澤邊 潤	全学部2年生以上※2021「コミュニティーインターンシップ入門」を受講済であること
データサイエンス・インターンシップ (事前・事後指導)	集中	10	山田 修司	全学部3・4年生 (どちらも履修登録)
データサイエンス・インターンシップ				
新潟の企業の魅力を探る	集中	15	高澤 陽二郎	全学部1～3年次
インターンシップ (基礎、実習1～7)	集中	150	田巻 帝子	法学部3年生
インターンシップ	集中	20	内藤 雅一	経済科学部3年生以上
インターンシップ	集中	20	内藤 雅一	経済科学部2年生以上
会計税務インターンシップ	集中	10	有元 知史	経済科学部生
インターンシップ特別実習a・b	通年	15	理就職進路指導委員会・他	理学部2・3・4年生
マーケット・インターンシップ	第1学期集中 第2学期集中		山内 健	工学部全学年
テクノロジー・インターンシップ	第1学期集中 第2学期集中		山内 健	工学部全学年
国際マーケット・グループワーク・ インターンシップA・B	第1学期集中 第2学期集中		馬場 暁・他	工学部全学年
国際テクノロジー・グループワーク・ インターンシップA・B	第1学期集中 第2学期集中		馬場 暁・他	工学部全学年

科目一覧 2

科目名	学期 (ターム)	定員	教員名	主聴講対象学部
インターンシップ	集中	68	田中 孝明・他	工学部材料科学プログラム2・3年生
キャリアデザイン・インターンシップⅡ	第2ターム	35	東瀬 朗・他	工学部・協創経営プログラム2年生
課題解決インターンシップⅡ	第3ターム	35	尾田 雅文・他	工学部・協創経営プログラム4年生
課題解決インターンシップⅢ	第4ターム	35	尾田 雅文・他	工学部・協創経営プログラム4年生
地域交流サテライト実習	通年	200	長橋 徹・他	農学部1年生
学科インターンシップ	通年	45	プログラム教員・他	農学部・応用生命科学プログラム3・4年生
学科インターンシップ	通年	30	プログラム教員・他	農学部・食品科学プログラム3年生
学科インターンシップ	通年	40	プログラム教員・他	農学部・生物資源科学プログラム3年生
学科インターンシップ	集中	50	稲葉 一成・他	農学部・流域環境学プログラム3年生
フィールド科学インターンシップ	集中	23	権田 豊・他	農学部・理学部のフィールド科学人材育成プログラム3年生
修士のためのインターンシップ	通年		永井 直人	大学院博士前期（修士）課程、理・工・農学部系
博士のためのインターンシップ	通年		永井 直人	大学院博士後期（博士）課程、理・工・農学部系
企画実践型インターンシップ	通年		西海 理之	大学院 自然科学研究科 大学院博士前期課程・食づくり実践型農と食のスペシャリスト養成プログラムを選択した大学院生
食づくり国際インターンシップ	通年		西海 理之	
インターンシップ	通年		指導教員	自然科学研究科 博士前期課程 1年

科目一覧 3

科目名	学期 (ターム)	定員	教員名	主聴講対象学部
建築インターンシップA・B・C	第2学期		指導教員	自然科学研究科 環境科学専攻社会基盤・建築学コース
リサーチインターンシップ	通年		指導教員	自然科学研究科 ダブルディグリープログラム
Research Agri-Internships	通年		指導教員	自然科学研究科 博士後期課程
博士ジョブ型研究インターンシップ	通年		樋口 直樹	大学院博士（後期）課程
先端的国際マーケット・グループワーク・インターンシップS・A・B	通年		上田 和孝	自然科学研究科 博士前期課程
先端的国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップS・A・B	通年		上田 和孝	自然科学研究科 博士前期課程
先端的国際リサーチ・インターンシップ	通年		馬場 暁	自然科学研究科 博士前期課程
高度先端的国際マーケット・グループワーク・インターンシップS・A・B	通年		上田 和孝	自然科学研究科 博士後期課程
高度先端的国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップS・A・B	通年		上田 和孝	自然科学研究科 博士後期課程
高度先端的国際リサーチ・インターンシップ	通年		馬場 暁	自然科学研究科 博士後期課程
キャリアパス独自形成特別演習	通年		指導教員	自然科学研究科 博士後期課程 電気情報工学専攻

<留意事項>

新型コロナウイルス感染症の状況により、学外での企業実習等の実施が難しい場合も考えられます。受講を希望する場合は、いずれも**シラバスで学修の目標・内容、実習先・期間等について把握し、予定通りに開講されるかどうかやガイダンスの実施等に関して、担当教員や学部・研究科の学務係によく確認**して下さい。

【参考】「インターンシップ・セミナー(入門編)」

- 1、インターンシップへの「期待」：様々な思惑
- 2、インターンシップの種類
- 3、データから見るインターンシップの現状
 - － コロナ禍で加速したオンライン・インターンシップの状況
- 4、「自分が必要とするインターンシップ」を見極める
リテラシーを持とう
 - － インターンシップに参加した学生の感想から
- 5、今後のインターンシップの方向性
- 6、実際のインターンシップ参加にあたって
 - － 【正課外】のインターンシップに関する新潟大学の支援
- 7、授業科目として開講されるインターンシップ

キャリア・就職支援オフィスのHPで
動画・資料を公開しています



「インターンシップ」

なんのために**事前準備**をする？



「越境」

自分の慣れ親しんだ場所を離れ、
違和感を感じる場所に行くための準備

普段の大学生活

◆本「事前準備講座」のゴール◆

貴重なインターンシップ参加の機会を
存分に活かすために・・・

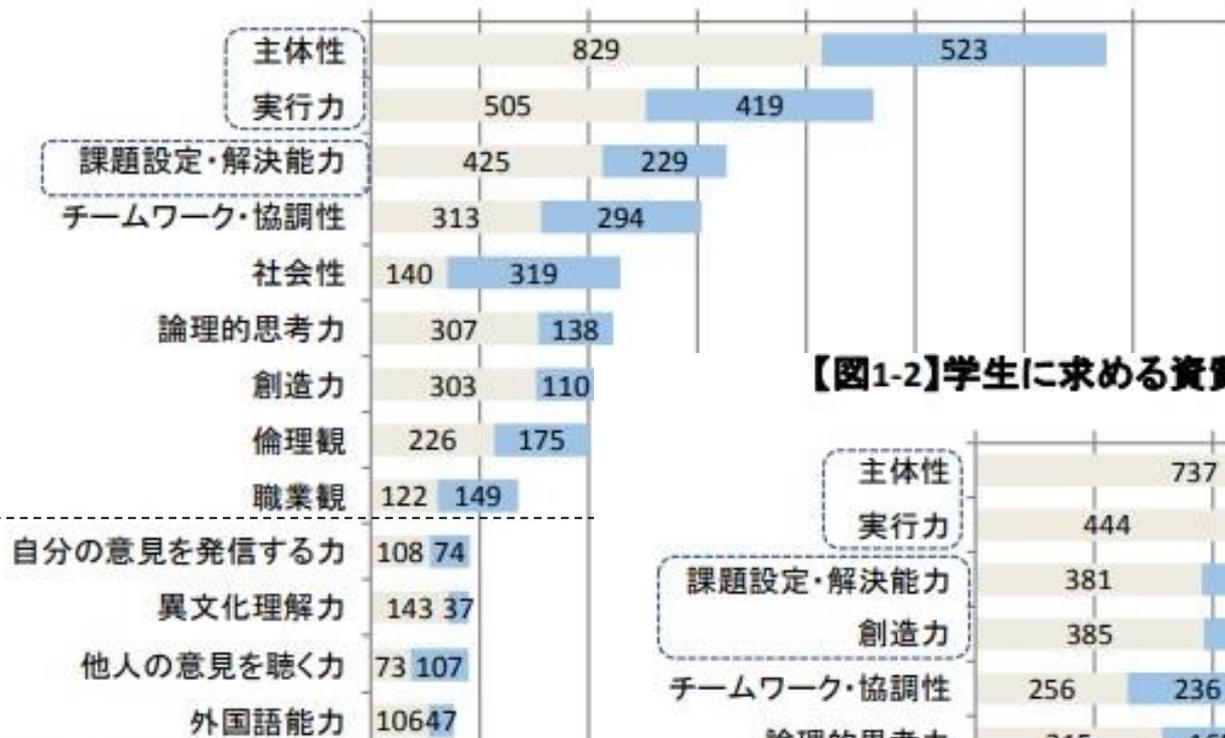
- ① **自分**の関心ごとを言語化する
- ② **受入先**(企業・自治体等)を理解する視点をもつ
- ③ 具体的なインターンシップの**目標を設定**する



－ はじめに① －
社会で求められる「力」とは何か

— はじめに① —

【図1-1】学生に求める資質、能力、知識 (文系)



【回答】443社

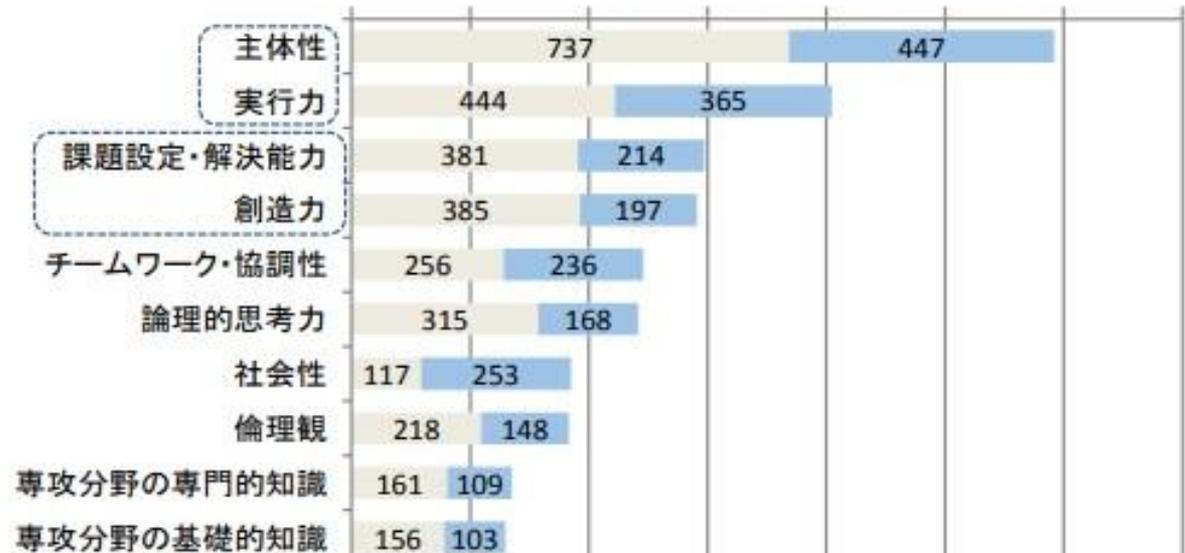
○経団連会員企業 / 258社

○経団連非会員企業 / 185社

<内訳>

- ◆製造業188社 ◆建設業47社
- ◆電気・ガス・水道業13社
- ◆運輸・通信業22社 ◆卸・小売・飲食業50社
- ◆金融・保険業38社 ◆不動産業6社
- ◆サービス業31社 ◆情報関連業22社
- ◆その他26社

【図1-2】学生に求める資質、能力、知識 (理系)



— はじめに① —

「主体性」「実行力」

「課題解決力」

「創造力」

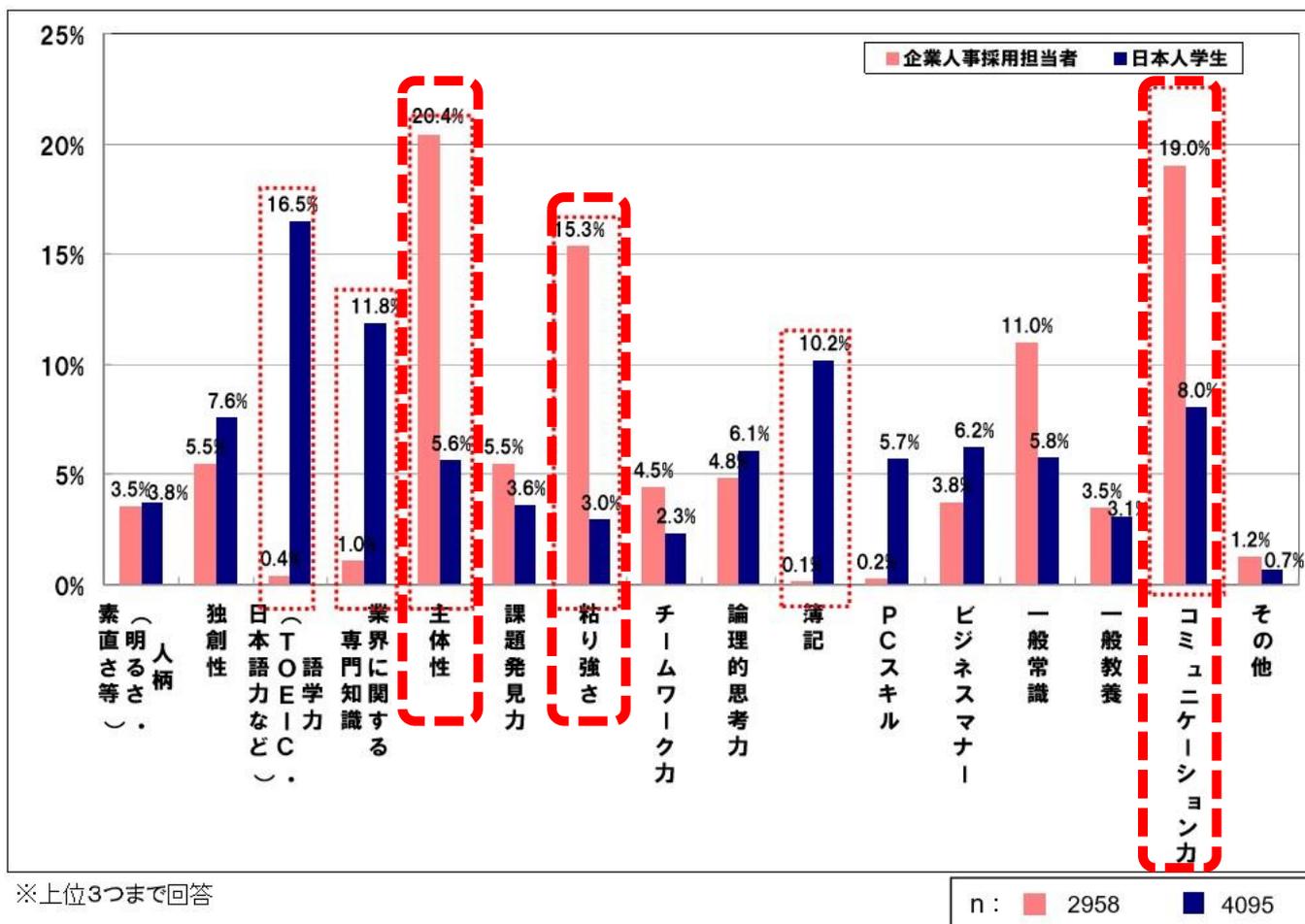
「論理的思考力」

「コミュニケーション力」 etc.

・・・それって、結局何なの！？

— はじめに① —

- **自分に**不足していると思う能力要素【対日本人**学生**】
- **学生に**不足していると思う能力要素【対**企業**】

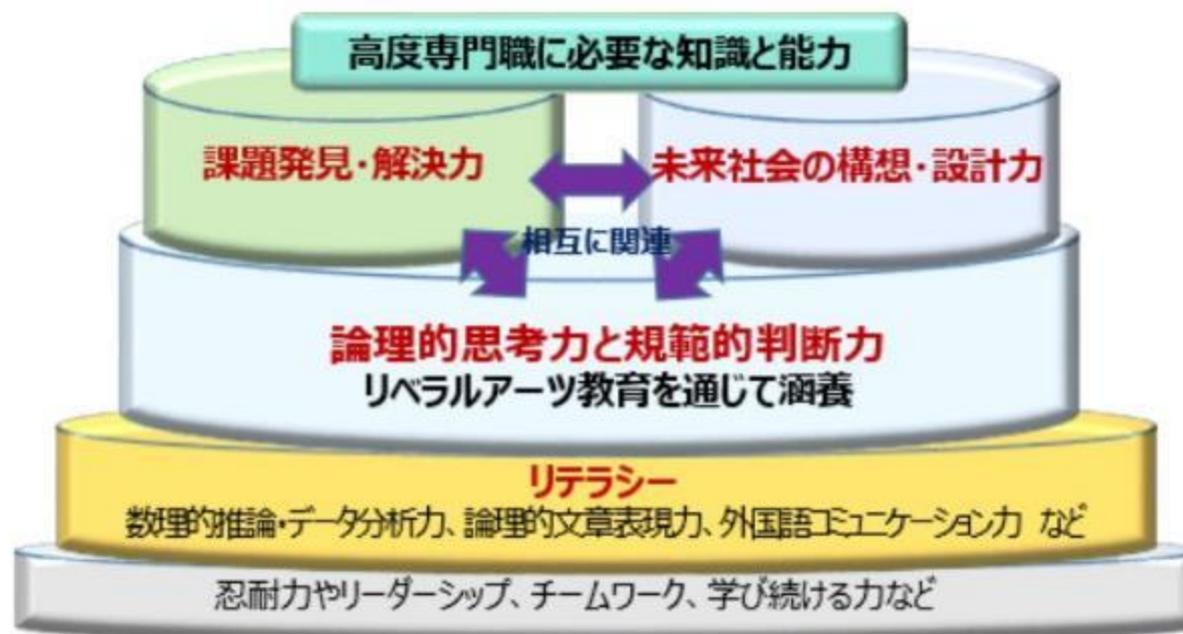


－ はじめに① －

「これからの社会で求められる人材」

（「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」資料より）

※同協議会は、経団連（日本経済団体連合会）と大学のトップが直接対話する枠組み



「最終的な専門分野が文系・理系であることを問わず、**リテラシー、論理的思考力、規範的判断力、課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力**などが求められる」
 「**社会人リカレント教育を拡充し、継続的に学び直し、それを評価していくことが必要**」

－ はじめに① －

社会は皆さんに、たくさんの「力」を求めています

単なる知識・技能にとどまらない「新しい能力」（松下 2010）の概念

名称	年	機関
生きる力（初等・中等教育）	1996	文部科学省
エンプロイヤビリティ－雇用されうる能力－	1999	日本経営者団体連盟
PISAリテラシー（初等・中等教育）	2001	OECD(経済協力開発機構)
人間力（初等・中等教育）	2003	内閣府(経済財政諮問会議)
社会人基礎力	2006	経済産業省
キー・コンピテンシー（初等・中等教育）	2006	OECD(経済協力開発機構)
学士力	2008	文部科学省
人生100年時代の社会人基礎力	2018	経済産業省
エージェンシー 「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を 実現していく力」	2018	OECD(経済協力開発機構)

出典：松下佳代(2010)「<新しい能力> 概念と教育－その背景と系譜」『<新しい能力> は教育を変えるか－学力・リテラシー・コンピテンシー』

を基に、一部加筆して作成

－ はじめに① －

社会が若者に求めている力

(これからの時代に必要だとされる力)は
どんなものか？

それを社会人はどう実践しているのか？

大学での経験や学びがどう役に立つのか？

自分の言葉で説明できますか？



－ はじめに② －
インターンシップからどう学ぶのか

－ はじめに② －

学ぶ

「受験スタイル」の学習

体系化された知識を順序立てて学ぶ

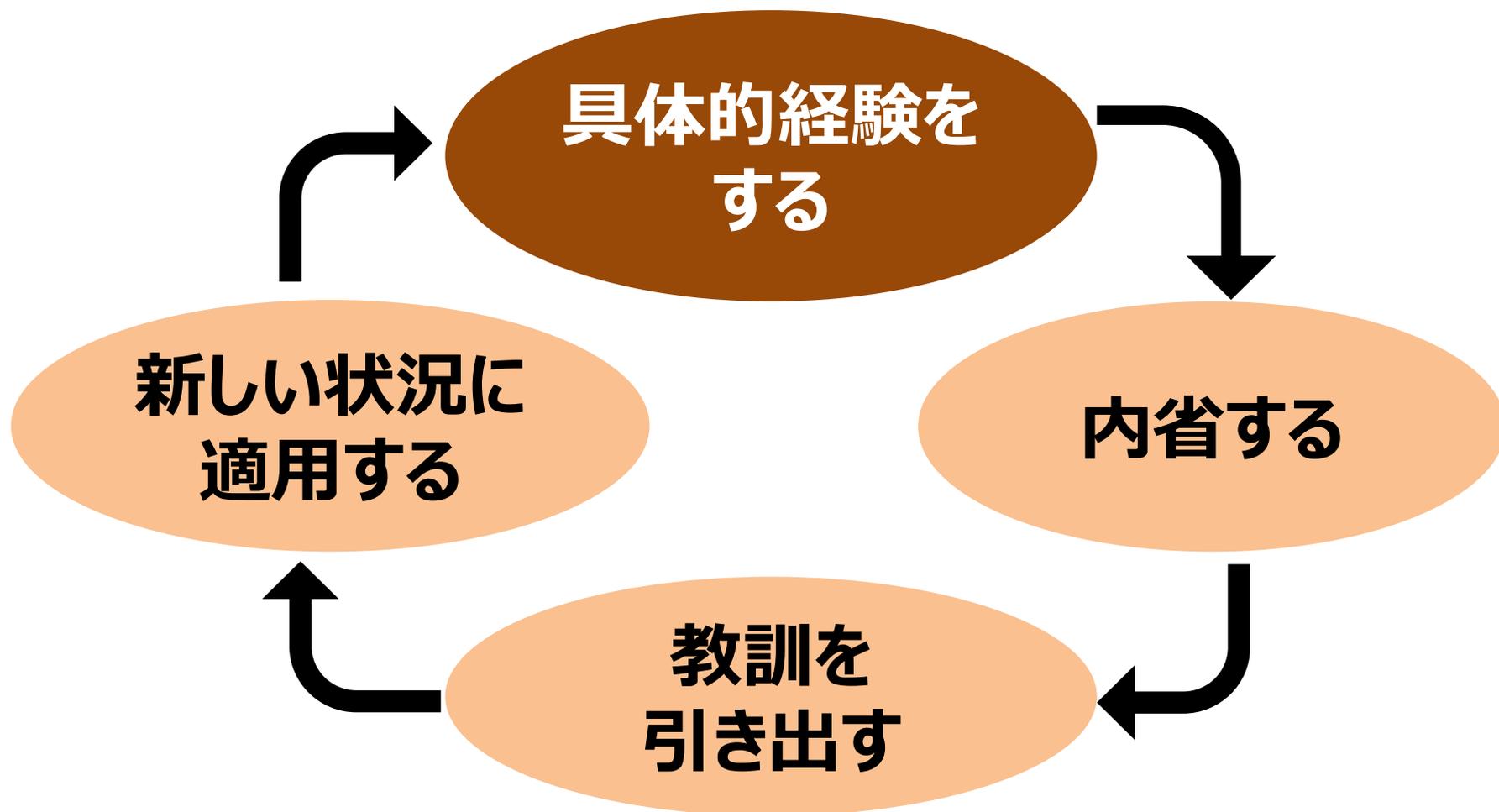
経験学習

自分が具体的に体験したこと、
そこからの**振り返り**を通じて学ぶ

自らの姿勢が学びの質を左右する

— はじめに② —

■ 経験学習 (Kolb, 1984) のサイクル



出典：松尾睦（2011）『「経験学習」入門』を基に、高澤が図を作成

Kolb, D. A. (1984). *Experiential learning: Experience as the source of learning and development*. Englewood Cliffs, NJ: Prentive-Hall.



－ はじめに② －

「大人の学びの原理原則」

出典：中原淳 (2018) 『働く大人のための「学び」の教科書』 かんき出版

■ 背伸び（ストレッチ）の原理

自分が取組んだことのない課題、少しレベルの高い経験への挑戦

■ 振り返りの原理

「経験」を放置しない

自分の気づき・感覚を言語化しておくことで、その先につなげる

■ つながりの原理

自分1人だけで学び、気づき、成長することはなかなか難しい
他者からのフィードバックを恐れない

－ はじめに② －

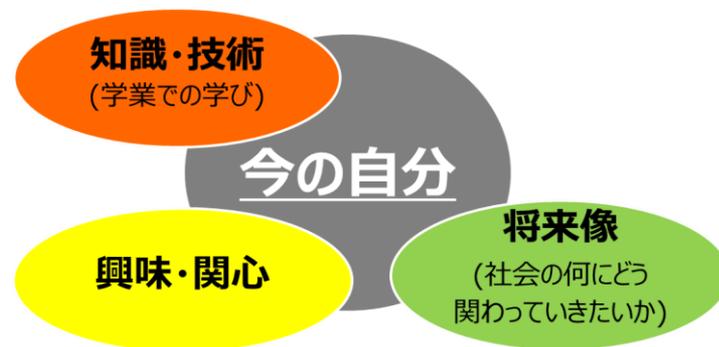
「インターンシップ」という
非日常の経験から、
学ぶ準備ができていますか？

【1】

自分自身の

動機・目的・確かめたいことを

確認する



「インターンシップ」と「大学での日常」をつなげて考える

今の自分が知っていることは？
何が知りたい？
確かめたい？
それはなぜ？

「インターンシップ」
非日常の経験



事前準備

日々の記憶・記録

できたこと
できなかったこと
驚き・発見・気づき
社員からの学び
葛藤や戸惑い
通じあう喜び

事後の振り返り

「インターンシップで感じた
社会」「将来像」と
「大学での学び・経験」は
どうつながるのか？
どうつなげていきたいのか？

その後の
大学での学修・
進路決定





皆さん自身にとって
「意味のあるインターンシップ」にするには、

皆さん自身が
「どんな目的でインターンシップを活用するか？」
これを具体的にしておくことが大切

そのために・・・

◆「大学生活で得てきたもの」を整理する◆

インターンシップ事前準備講座 ◆学部： ◆名前：

自分自身が大学生活を経て得たものの整理

シート1

Q、このインターンシップで知りたい、確かめたい、試したいことは？

知識・技術
(学業での学び)

今の自分

興味・関心

将
(社会
関わって

【★ワークシート1★】

- 知識・技術 (学業での学び)
- 興味・関心
- 将来像(社会の何にどう関わっていきたいか)

これらを参考に・・・

Q.このインターンシップで

「知りたい」「確かめたい」

「試したい」ことを

問い(～?)の形で書く

自分の関心ごとを具体的に言葉にし、
具体的な質問ができれば、
それだけ
具体的な答えが返ってきます。

そうすると、
今後学びたい・身に付けたいことも
より具体的にになるかもしれません。



【2】

インターンシップ先の

企業（官公庁）を知る

「企業研究は大事だ」と
言われるけれど・・・

何となく会社のWEBサイトを眺めるだけでは
表面的な情報が得られるだけ



自分なりの視点で企業を見て、調べて、
疑問をもつことが重要

(その疑問が、インターンシップに行った時の質問のタネになる)

※情報がなくても、自分なりに仮説を立てて考えてみよう

今後の社会情勢の変化に対して、どんな方向性を打ち出している？

- ・どんな事業をしているか？
- ・商品、サービスの特徴は？
- ・強みと弱みは？技術の特徴は？

そこでの働き方は？

- どんな部署・役割が？
- 若手社員はどんな仕事をしている？
- やりがいや苦労は？
(就活サイトなど)

最近の話題は？

- その企業や業界では、最近どんなことが話題？
(ニュース、新聞記事検索など)

Company
(自社)

「3C分析」

Competitors
(競合)

Customers
(顧客)

B to B 企業

B to C 企業

- ・ライバルはどこか？
- ・ライバルの強みと弱み（特徴）は？
- ・ライバルと比べた時の特徴は？

- ・どんな人（企業）が顧客？
- ・誰のどんなニーズに込えている？
- ・顧客にどうPRしている？

3 C 分析 (例) ➡ 企業同士を比較する材料にもなる

企業概要、商品、市場シェア、売上推移、ブランドイメージ、技術力、組織力、人的資源 等

【スターバックスコーヒージャパン株式会社】設立1995年10月26日 資本金 83億8039万円 従業員 2,003名
 店舗数 1,034店舗 事業内容 コーヒースタアの経営/コーヒー及び関連商品の販売

※2014年3月期決算：売上高・各利益全て過去最高額更新 営業利益率8.7%（業界屈指）⇒出店投資は自己資金にて

強み：ブランド力（商品力・社員力）、調達能力が高い（コーヒー仕入・販売）、ホスピタリティの高さ

弱み：高額、都心部中心（顧客固定化）

特徴：革新的なオリジナル商品の投入が売上を牽引、既存店のリニューアル（顧客変化対応）、人事制度改革（パートナーのキャリアパス・契約社員の正社員化）

課題

- ・「入れたてコーヒー」市場の競争激化
- ・類似店舗の増加
- ・都心部が飽和状態

今後の戦略

- ・出店加速：年間約100店舗の出店→郊外中心、ドライブスルー併設、営業時間の延長
- ・既存店成長：顧客のカフェ使用変化に対応→個別テーブルにコンセント設置、タブレット端末設置など

Company
(自社)

Competitors
(競合)

競合企業、競合商品、寡占度 等

【競合店】

- ・タリーズ、エクセルシオール、ドトールコーヒー、コメダ珈琲
- ・ファーストフード店

コンビニエンスストア（セブンイレブン・ローソン、ファミリーマート等）

【カフェ業界】業界NO.1（2位ドトールとの差約400億）

※上記のコンビニが入れたてコーヒー市場に参入し、脅威となっている

Customers
(顧客)

ターゲット顧客、購買プロセス、市場成長性 等

- ・ターゲット顧客：ビジネスパーソン、海外観光客、都心部学生、家族
- ・ニーズ：カスタマイズコーヒー、高級感、くつろげる空間
- ・市場の将来性：都心部は飽和状態→郊外へ
店内飲食・持ち帰りコーヒー

◆「3 C分析+a」で企業(官公庁)を見る◆

インターンシップ先の企業(官公庁)について 自分は何を知っているだろうか？

インターンシップ事前準備講座 ◆学部： ◆名前：

シート2

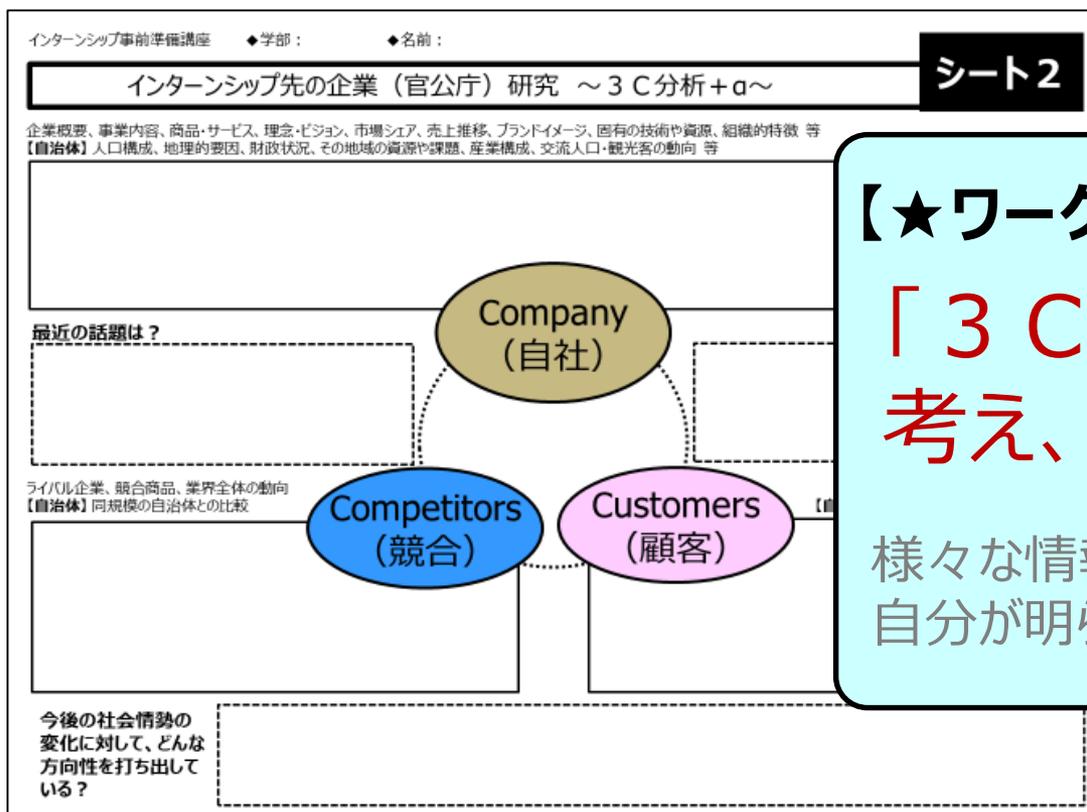
インターンシップ先の企業(官公庁) 研究 ～3 C分析+a～

企業概要、事業内容、商品・サービス、理念・ビジョン、市場シェア、売上推移、ブランドイメージ、固有の技術や資源、組織的特徴 等
 【自治体】人口構成、地理的要因、財政状況、その地域の資源や課題、産業構成、交流人口・観光客の動向 等

最近の話題は？

ライバル企業、競合商品、業界全体の動向
 【自治体】同規模の自治体との比較

今後の社会情勢の変化に対して、どんな方向性を打ち出している？



【★ワークシート2★】

「3 C分析+a」の視点から
考え、調べ、書き出してみる

様々な情報源を調べながら特徴を整理し、
自分が明らかにしたい点を確認する

【参考となる情報源（例）】

<業界について>

- ・「業界動向サーチドットコム」 <http://gyokai-search.com/>
- ・(株)帝国データバンク「景気業界動向」 <http://www.tdb.co.jp/report/index.html>

<最近話題のトピックについて>

- ・「東洋経済オンライン」 <https://toyokeizai.net/>
- ・本学附属図書館WEBサイト「データベース一覧」
例) 朝日新聞クロスサーチ：朝日新聞・週刊朝日などの記事を検索可
新潟日報データベース
日経BP記事検索サービス：「日経ビジネス」等、日経BP社で発行する主要な約50誌の
記事検索・閲覧可

<企業について>

- ・企業WEBサイト：会社概要、採用情報、決算情報 等
- ・「会社四季報」：上場企業を中心に、企業の主な概要や財務状況、
業績がまとめられた企業データブック（キャリアセンターにあります）
- ・EDINET：有価証券報告書等の閲覧 <http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>
- ・就活サイト：『マイナビ』『リクナビ』『にいがた就職応援団』等

本学附属図書館WEBサイト「新潟日報データベース」の検索例

金融 生き残り

- [\[地域と歩む 変わる県内金融\] 中 再編圧力 経営効率時代の要請 生き残りへ地元密着重視](#)


 新潟日報 2020.12.25 2経-10版 6頁 朝刊 (全1,408字)
- [アークランド、リクスルビバ子会社化 思惑一致異例の買収 少子化背景に危機感 HC業界の再編加速へ](#)


 新潟日報 2020.06.10 2経-10版 6頁 朝刊 (全2,860字)
- [特集/\[新型コロナウイルス\] 県民に元気を、企業活性化へ 「つなぐ、にいがた。」始動 県内メディア合同で](#)


 新潟日報 2020.05.30 特集1-10版 22頁 朝刊 (全3,280字)
- [\[300キロのコントラスト 過密の足元で\] 4 氷河期世代試練乗り越え 磨いた造形力で道開く 見えぬ先行き「負けない」](#)


 新潟日報 2020.04.19 2社-11版 20頁 朝刊 (全1,422字)
- [\[日報政経懇\] 上越 東京財団政策研究所主席研究員・柯隆氏 中国経済徐々に減速か](#)


 新潟日報 2020.02.18 2経-10版 6頁 朝刊 (全838字)
- [\[300キロのコントラスト 上京夢のあとさき\] 9 生き残り懸け金脈探る 都内で受注狙う建設業男性](#)


 新潟日報 2020.01.11 社会-11版 31頁 朝刊 (全1,553字)
- [\[参院選7. 21新潟\] アベノミクス下の低金利環境 県内金融機関 出口見えず苦戦続く 経費削減に知恵 「昼休み」導入も](#)


 新潟日報 2019.07.19 2経-10版 6頁 朝刊 (全1,492字)
- [\[連続講座 知の再武装 寺島実郎\] 「世界の動態をネットワーク的視界で考える」 アジアとの連携重視を](#)


 新潟日報 2019.05.17 2経-10版 6頁 朝刊 (全711字)
- [\[NIIGATA 平成考 あのとき あのシーン\] 6 経済 新潟中央銀行が破綻 県経済へ大きな痛手](#)


 新潟日報 2019.03.27 4社-10版 32頁 朝刊 (全1,340字)
- [特集/\[東日本大震災8年 エネルギー新時代\] 広がる電力の「地産地消」](#)


 新潟日報 2019.03.10 特集1-10版 16頁 朝刊 (全7,417字)
- [\[始動 第四北越FG\] 4 本業不振 コンサル業務に活路 新ビジネス構築が急務](#)


本学附属図書館WEBサイト「新潟日報データベース」の検索例

移住 政策

- [十日町 UIターンを強化 移住支援員配置へ](#)


新潟日報 2021.06.09 魚沼-10版 18頁 朝刊 (全330字)
- [\[いにしへ下越 伝説めぐり\] 古四王神社\(2\) 蝦夷政策に翻弄された民 「北の守り神」説に影響か](#)


新潟日報 2021.05.22 下越-10版 14頁 朝刊 (全1,303字)
- [ワーケーション可能性を考える 観光関係者らフォーラム 妙高](#)


新潟日報 2021.04.23 上越-10版 19頁 朝刊 (全635字)
- [\[4・25十日町市長選\] 現新一騎打ち 組織対草の根舌戦火ぶた 関口氏 3期の実績前面に 樋口氏 民意くむ姿勢強調](#)


新潟日報 2021.04.20 魚沼-10版 18頁 朝刊 (全2,243字)
- [\[地域おこし協力隊 定住への決断 in 胎内\] 下 坂井集落 朽網裕子さん\(40\) 福岡県出身 コケの宝庫で事業育て](#)


新潟日報 2021.04.17 下越-10版 14頁 朝刊 (全1,591字)
- [\[新型コロナウイルス\] 長岡市 移住者向け補助拡充 2年以上から改修費用](#)


新潟日報 2021.04.06 長岡-10版 16頁 朝刊 (全498字)
- [\[2021予算点検\] 上越市\(上\) 新型コロナウイルス・地域振興 中小企業支援策手厚く 直江津活性化へアート展](#)


新潟日報 2021.04.06 上越-10版 19頁 朝刊 (全1,584字)
- [\[人事\] 佐渡市\(4月1日\) = SCは行政サービスセンター](#)


新潟日報 2021.03.26 佐渡-10版 13頁 朝刊 (全657字)
- [\[新型コロナウイルス 点検2021県予算\] 5 分散型社会 移住促進市町村と協力 東京での相談体制も強化](#)

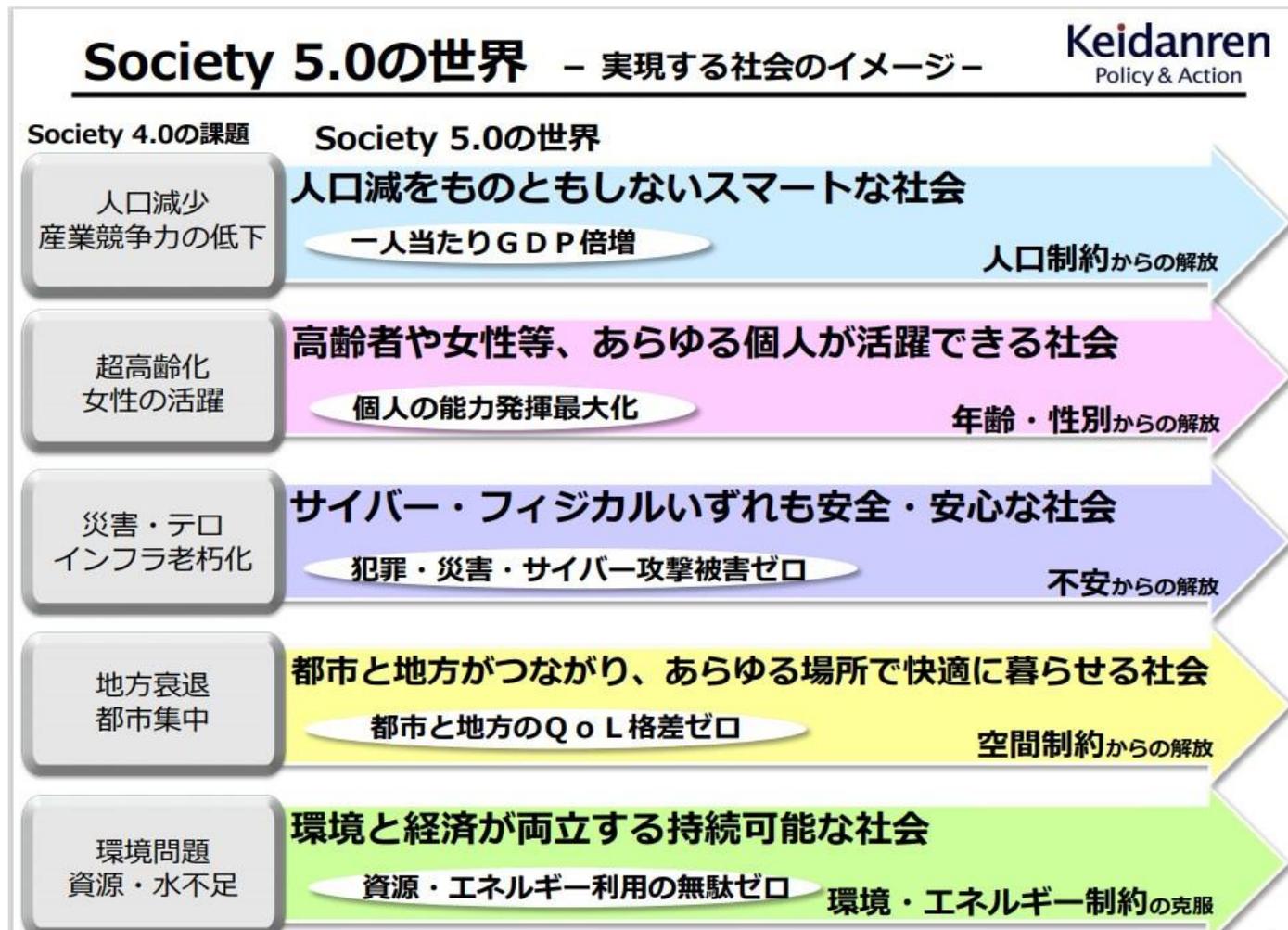

新潟日報 2021.03.24 4総-10版 4頁 朝刊 (全1,417字)
- [\['21佐渡市予算のポイント\] 1 企業誘致・定住促進 人口の社会減菌止めへ 起業に補助拠点づくりも](#)


新潟日報 2021.03.23 佐渡-10版 13頁 朝刊 (全1,344字)
- [県会総務文教委 地域協力隊最多191人 19年度、定着は7割超](#)


新潟日報 2021.03.09 4総-10版 4頁 朝刊 (全766字)

【参考となる情報源（例）】

＜社会情勢の変化に対応した今後の方向性＞



人口減少

少子高齢化

災害対応

デジタル社会

都市一極集中の解消

環境保全
持続可能性

【参考となる情報源（例）】

<社会情勢の変化に対応した今後の方向性>

受入先の企業（自治体）・業界全体が、
今後の変化する社会情勢に対して、どう対応しようとしているのか？

<例 1> 新潟市役所の場合

・「にいがた未来ビジョン」

<https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/seisaku/sogo/miraivision/index.html>

・「選ばれる都市 新潟市～ウイズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり～」(2021年2月)

<https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/seisaku/20212erabarertoshi.html>

・「部・区 組織目標」

<https://www.city.niigata.lg.jp/smph/shisei/soshiki/target/bukumokuhyo/r03/index.html>

<例 2> 新潟県の場合

・「新潟県総合計画」

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seisaku/1356915122382.html>

<企業の場合>

- ・大企業であれば、経営トップの記者会見や投資家向けのリリースなど
- ・その他、理念や経営方針、最近のニュースリリースなど



【3】 インターンシップの 目標を設定する

◆インターンシップでの「目標」を決める◆

インターンシップ事前準備講座

◆学部：

◆名前：

目標設定

シート3

そのインターンシップで、あなたは「何を目標に」「どう行動」しますか？

目標 (シート1の「知りたい、確かめたい、試したいこと」を参照しながら)

行動指針 具体的にインターンシップ中どう行動したら、何を質問した

【★ワークシート3★】

●「目標」を明確にする

(シート1の「知りたい、確かめたい、
試したいこと」を参照しながら)

●そのための「行動指針」をたてる

具体的にインターンシップ中どう行動したら、何を
質問したら、その目標が達成できる？



「目標」を考える上での3つのフレーム

1. 試す

- 大学生活で「**学んできたこと・専門知識・技術**」や自分の「**強み・能力**」が、実際の仕事の中でどう活かせるか試してみたい
- 自分の「**苦手**」や「**課題**」を克服するために、仕事の中でチャレンジしてみたい
- 同じ業界でも企業によって強みや社風がどう違うのか、どちらも参加することで自分なりに**比較**したい



「目標」を考える上での3つのフレーム

2. 学ぶ

- ・企業や官公庁の現場で働く方々の問題意識、変化する社会への対応等を直に知りたい
- ・その会社や業界が「社会・顧客とどう関わっているか」や「自分が学んでいることとどう関係するか」を知りたい
- ・現場での経験を通じて、「社会で力を発揮するために必要な能力・知識」を理解したい
- ・自分に足りない点を確認、今後の大学生活に活かしたい
- ・企業（官公庁）と大学で求められる専門性の違いを学びたい



「目標」を考える上での3つのフレーム

3. 視野を広げる

- 興味のある**業界（企業）の実情**を知りたい
- さまざまな**業種・職種**に広くふれてみたい
- 興味をもっている**企業の社風**や**働く社員の様子**を間近に見て、自分のイメージを確かめたい
- インターンシップに参加する**他の学生から刺激**を得たい



「行動指針」

(例)

- 1日が終わったら、翌日聞いてみたいことをノートに書きだす
- 電車の通勤時間20分を振り返りの時間にする
- 時間に余裕を持って早めに職場へ行き、社内の空気や環境に慣れる
- 社員との関係づくりのため、必ず自分から挨拶をする
- 意見を言う場があれば必ず発言する
- 課題提出や発表を行った後に、必ず社員からフィードバックをもらう
- 資料を作る時は、相手のことを考えて見やすくなるように工夫する



－ 最後に① －
経験を振り返る・気づきを言語化する



－ 最後に① －

経験を振り返って書き残す「理由」・・・K P T

1. 「その場での気付き・学び」をキープ(Keep)する

気付いたこと・感じたことを、忘れないうちに言葉にします。

言葉にできないことは、意識できないし再現できません。忘れます。

2. 「問題 (Problem) 」を明らかにする

知らなかったこと・できなかったこと・つまづいたことを、

明確に、具体的に記します。

意識できない「問題」は改善もできません。

3. (1・2に対して) どう挑戦 (Try) するか決める

振り返った「学び」「問題」をもとに、今後それをどう実践していくか、

どう解決していくかを決めます。

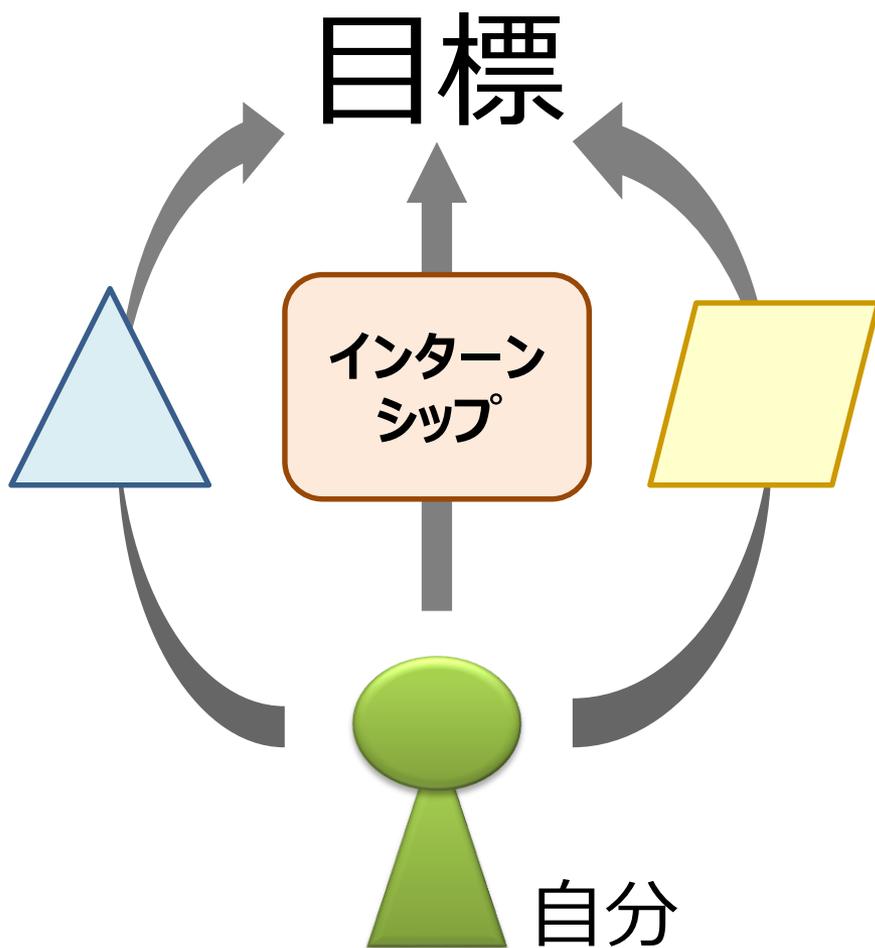
それを実践することが次の1につながります。



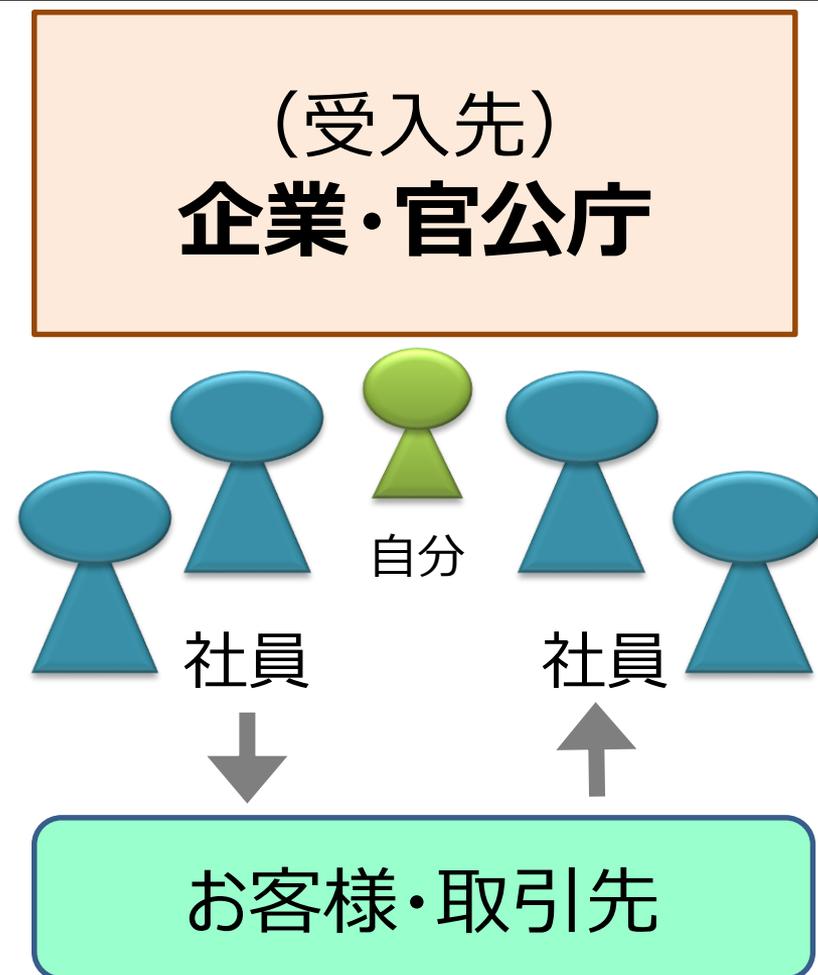
－ 最後に② －
相手（受入側）の立場でも考えてみる

— 最後に② —

スタンス①：「自分の学び・経験」を軸に、
主体性をもって目標を決める



スタンス②：相手(受入側)の立場で考え、
ふるまう、行動する





◆本「事前準備講座」のゴール◆

貴重なインターンシップ参加の機会を
存分に活かすために・・・

- ① **自分**の関心ごとを言語化する
- ② **受入先**(企業・自治体等)を理解する視点をもつ
- ③ 具体的なインターンシップの**目標を設定**する